



## 水 稲【田植え時期】

5月下旬～6月下旬 高温障害（乳・心白米の原因）回避のため遅植えを心がけましょう。

★水稲の基本的な水管理：①朝は水を止め、田んぼに水を溜めた状態で、水温を上げる。  
（但し除草剤処理後） ②夕方～夜間は、水を掛け流し状態で、水温を下げる。

### ヒノヒカリ

- ・平坦部：6月25日頃の田植えを心がけ、出穂後40日頃に収穫
- ・山間部：5月下旬～6月上旬頃の田植えを心がけ、出穂後40日頃に収穫

### まいひかり

- ・6月中旬頃の田植えを心がけ、出穂後45日頃に収穫

### おてんとそだち (新品種)

- ・ヒノヒカリよりも10日位早めの田植えをして、出穂後40日頃に収穫  
※ヒノヒカリよりも出穂が早いので、穂肥に注意しましょう。

#### 主な特徴

- ①品質が良く、乳、心白粒が少ない。
- ②ヒノヒカリより多収でヒノヒカリ並の食味である。
- ③倒伏に強い。

## 水 稲【除草剤を上手に使いましょう】

雑草の伸びは、田植え後の日数でなく、植代後の日数で決まります。

ノビエは一般的に5日程で1葉伸びます。雑草の葉齢や薬剤の使用時期に注意して除草剤散布しましょう。

◆**粒剤タイプ**：田んぼに入って散布します。比較的よく使われるタイプです。

- ・**リボルバー1キロ粒剤**（田植え5日後から使用します。）
- ・**イノーバーDX1キロ粒剤51**（田植え同時散布が可能です。）

◆**フロアフル剤タイプ**：畦から散布できます。風の強い日は、薬が流されますので注意しましょう。

- ・**サラフレッドフロアフル**（田植え直後から使用できます。）
- ・**ジョイスターLフロアフル**（田植え5日後から使用します。）

◆**ジャンボ剤タイプ**：畦から投げ込みます。水深をやや深水（5cm～6cm）状態で散布します。風の強い日は、薬が流されますので注意しましょう。

- ・**クサトリエースLジャンボ**（田植え3日後から使用できます。）

※どのタイプの除草剤も水管理が重要です。散布後1週間は湛水状態を保ち、落水や掛け流しは行わないように心がけましょう。

## さといも

中晩生種の普通栽培で5月に出る芽は親芋の芽です。2本以上出ているものは、大きい芽を1本残して他の芽は、かき取ります。6月以降に発生する芽は子芋の芽ですので、これは残します。

また、圃場が乾燥すると生育が遅れるので、積極的にかん水をおこない生育を促します

## らっきょう

5月下旬から本格的な収穫期に入ります。降雨後、土壌水分が多いときに収穫すると腐敗の原因になりますので、晴天が続くときに収穫しましょう。また、ウイルスに感染した株を種球として残さないように注意しましょう。ウイルスに感染した株は、ひとつひとつの球が小さいことと、球がぴったりとくっつき合っ、分けにくいことで区別できます。

## 契約人参(加工用・青果用)を栽培しませんか！

冬場の収入源として考えてみませんか？

◆加工人参【品種：朱衣・黒田五寸】

- ・播種時期：8月中旬～9月上旬
- ・出荷期間：平成24年12月上旬～平成25年3月末・フレコン出荷
- ・単 価：28～32円/kg（23年度参考単価）

青果人参【品種：愛紅（予定）】

- ・播種時期：8月中旬～9月上旬
- ・出荷期間：平成24年12月1日～平成25年3月31日・フレコン又はサンテナ出荷
- ・単 価：47円/kg



## 生産資材情報【甘藷、里芋殺虫剤】

梅雨が上がり、気温が上昇してくると害虫が発生します。手遅れにならないうちに早めの防除を心がけましょう。

◆**フェニックス顆粒水和剤** → 対象害虫（ハスモンヨトウ）

- 【価格】
- 100g / 2,163円（税込）
  - 250g / 5,334円（税込）
  - 500g / 10,080円（税込）

◎希釈倍率は2,000倍です。

※早い食害ストップと長い残効性のデキるヤツ！！

※ナカジロシタバについては、他の殺虫剤(トレボン等)より効果が有ると考えられます。

※防除の適期は、害虫の若齢期～中齢期に早めに防除しましょう。



（ナカジロシタバ）



◆**スミチオン乳剤** → 対象害虫（ヨツモンカメノコハムシ）

- 【価格】
- 500cc / 1,271円（税込）
- ◎希釈倍率は1,000倍です。



※食害はヨトウムシ類より比較的少ないが、近年増繁しています。

（文書取扱 JA都城 営農企画室）  
営農サポーター：猪俣、内村、横山  
TEL38-6693 FAX38-6692